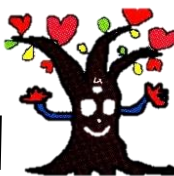




学校だより

「たぶの木」



令和6年2月
鹿児島市立武岡台小学校
児童数 242人



春はそこまで

校長 榊まゆみ

立春を過ぎ、だいぶ日が長くなりました。1月末、寒にさらされた花たちが咲き始め、日中過ごしやすい日が増えてくると、少しずつそして確実に季節が巡っていると感じます。6年生は卒業に向け、歌や所作の練習が始まりました。

お楽しみ給食



9日は6年生だけのお楽しみ給食で、いつもより品数が多い給食を図工室の広いスペースを使って楽しく会食しました。インフルエンザの対策で対面やグループでの食事はできませんでしたが、マジックやクイズ・コントなど楽しい出し物もあり、思い出の1コマになったことでしょう。

10日は本校を会場に、恒例の武岡小学校6年生との交流学習を行いました。本校児童は5年生の頃から集会活動で登場する10レンジャー+レインボーレンジャーに扮し、武岡台小の学校紹介をしました。



われら10レンジャー



レインボーレンジャー!



武岡小との
交流ドッジボール

その後、ドッジボールで交流を深めました。4月から、武岡中学校で一緒に生活する仲間だという自覚も新たに、楽しいひと時を過ごしました。

13日には来年度の入学説明会があり、季節の移り変わりと同時に、学校では次年度の準備も始まっています。

1年間のまとめと来年度の準備の時期である2月は「如月」とも言い、衣を更に着重ねるほど寒さが増す時期でもあります。寒さに負けず、子供たちに笑顔の花が咲きますよう、そしてみんなが「この学校で、この学級でよかった。」と晴れ晴れとした気持ちで、心から言える締めくくりとなりますよう、職員一同努めてまいります。